

科目（講座名）		世界史B	4 単位	必修選択
教科書	改訂版「詳説世界史B」（山川出版社）		担当教諭	
副教材	「最新世界史図説タペストリー」（帝国書院） 「詳説世界史整理ノート」（山川出版社）			

学習の目標

大学入試に対応出来る基礎学力を養成するとともに、演習を行う。

授業内容

講義・演習を中心に行う。可能な限り I C T などの視聴覚教材を利用する。

学習方法

授業中はプリントに内容を記録し、各自でノートにまとめる。

評価の観点

関心・意欲・態度	歴史上の事件や人物について、教員の話をきちんと聞いている。 予習復習をおこなっている。 積極的な授業参加が見られる。
思考・判断	歴史上の地名・人物について思考をめぐらし、それらがどのように現代社会形成の要素となったかを理解している。 世界史的な事象に対し原因と結果に着目しその内実について正確な判断を下せる。
技能・表現	板書を「詳説世界史整理ノート」に記入している。
知識・理解	世界史を形成した事件や人物について十分な知識と理解をし、それらが現代社会を構成するもととなっていることを理解している。

評価方法

上記の観点について、定期考査及び平常点（提出物、授業態度、その他）を含め、年間の成績を総合的に判断し評価する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	4	古代から 中世	先史の世界 古代国家の興亡 東南アジア 中国通史 イスラーム世界 中世ヨーロッパ	古代から中世にかけての各地域の復習 と演習を行う。
	5	1 4			
		1 4			
	6	6			
	7	1 4	近世から 近代	ルネサンス 大航海時代 宗教改革	近世の各地域の復習と演習を行う。
2	9	1 2	近代から 現代	近代国家の成立 大西洋革命 アジアの動揺 帝国主義 両大戦 戦後の世界	近代から現代にかけての各地域の復習 と演習を行う。
	10	1 6			
	11	1 8			
	12	1 0			
3	1	3 2		戦後の世界	全範囲の演習を行う。
	2				
	3				